

## 文学博士荻須純道教授略歴

明治四十年五月二十九日、長野県木曾郡樽川村奈良井大宝寺、荻須憲道師の長男として生る。

十三才にして、長野県木曾、須原の定勝寺、泉文浄師に就き、また十八才にして、京都黒谷の紫雲石、家田真乗師に就く。

### 学 歴

昭和九年三月 龍谷大学文学部史学科卒業。

昭和九年四月 建仁寺専門道場掛塔。

昭和十九年十月 終戦まで中華民国留学。

昭和三十六年十月 文学博士の学位受領。

### 職 歴

昭和十一年四月 禅門高等学院仏教史学科教員に就任し、同十八年三月に至る。

昭和十二年一月 貝葉書院発行雑誌「禅宗」の編集に従事し、同十六年九月に至る。

昭和十七年二月 妙心寺発行雑誌「微笑」の編集に従事し、同十九年九月に至る。

昭和十八年四月 臨濟学院専門学校教授に就任。

昭和二十一年四月 同校舎監を兼任。

昭和二十一年四月 花園大学教授となり現在に至る。

昭和二十四年十二月 花園大学学監に就任し同四十三年三月に至る。

昭和二十六年三月 学校法人花園学園の常任理事となり、寄宿舎、図書館、教室、本館の増改築並に文学部設置の件を推進し、同四十三年三月に辞任す。

昭和四十一年四月 龍谷大学文学部兼任講師、現在に至る。

#### 学界活動その他

現在 日本仏教学会、日本印度学仏教学会、禅文化研究所等理事。

昭和四十一年七月 臨濟禪師一千百年遠諱に当り、臨濟宗訪中使節団の一員となり臨濟禪師の祖塔を拝す。

# 著書論文目録

## 著書

夢窓・大燈

弘文堂書房

昭和十九年一月二十日發行

大寂余光

靈雲院

昭和三十年三月十日發行

無相大師

妙心寺

昭和三十三年七月二十日發行

京、鎌倉の禪寺

教育新潮社

昭和三十八年十一月二十五日發行

日本中世禪宗史

木耳社

昭和四十年五月三十日發行

## 論文

天章禪師の事跡

禅学研究三二号

昭和十四年十一月

宋僧契嵩の五山禅僧に及ぼせる思想的影響

龍谷学報三三〇号

昭和十六年五月

禅宗史上に於ける南宋の虚堂智愚について

支那仏教史学七ノ二

昭和十八年八月

禅宗史上の大燈国師について

日本仏教史学二ノ三

昭和十八年八月

五山に投影した中国文化

禅学研究四二号

昭和二十七年三月

関山慧玄禅師の頂相について

禅学研究四五号

昭和二十九年十二月

日本禅宗二十四流史伝考

日本仏教学会年報第二一号

昭和三十年三月

元師蛮の伝燈嗣承観

仏教史学五ノ一

昭和三十一年一月

関山慧玄禅師遺誠について

禅学研究四六号

昭和三十一年二月

応燈関門流の純一性

印度学仏教学研究五ノ二

昭和三十三年三月

趙宋仏教復興の一考察

印度学仏教学研究六ノ一

昭和三十三年一月

日宋文化の交流とわが国の禅

印度学仏教学研究七ノ一

昭和三十三年十二月

宋代における念仏禅の潮流

龍谷史壇四四号

昭和三十三年十二月

京都禅と鎌倉禅

禅学研究四九号

昭和三十四年二月

中世日本における禅の二潮流について

魚澄先生古稀記念論文集

昭和三十四年七月

大燈国師の独脱性

印度学仏教学研究八ノ一

昭和三十五年一月

大燈禅の独自性

禅学研究五〇号

昭和三十五年二月

——大燈百二十則を中心として——

印度学仏教学研究九ノ一

昭和三十六年一月

中世日本に成立した禅の性格

塚本博士頌寿記念仏教史学論集

昭和三十六年一月

関山禅師の生誕地について

禅学研究五一号

昭和三十六年二月

関山禅師の生年説について

印度学仏教学研究一〇ノ一

昭和三十七年一月

禅林学芸の起因について

妙心寺の開創について

禅学研究五二号

昭和三十七年三月

大慧禅師の碧巖録焼毀について

印度学仏教学会二ノ一

昭和三十八年一月

栄西禅師の一心戒について

禅学研究五四号

昭和三十九年三月

聖徳太子と達摩日本渡来の伝説をめぐりて

日本仏教学会年報第二九号

昭和三十九年三月

拔隊禅師の菩薩道について

印度学仏教学研究一三ノ一

昭和四十年一月

拔隊禅師の家風

禅学研究五五号

昭和四十一年二月

宋代禅の影響と日本文化

印度学仏教学研究一四ノ二

昭和四十一年三月

臨濟禅と菩薩道

西義雄博士編「大乘菩薩道の研究」所収

昭和四十三年三月

禅僧の浄土教観

藤島博士記念論文集所収

近刊

夢窓国師の浄土教観

福井博士頌寿記念東洋文化論集所収

近刊

日本中世臨濟禅の形成について

日本仏教学会年報第三三号

近刊

『禅文化』その他

禅僧の独脱性

禅文化二号

昭和三十年九月

大応国師の余光

同 八号

昭和三十二年六月

盤珪とその時代

同 一〇・一一号

昭和三十三年五月

夢窓国師の生涯

同 一二・一三号

昭和三十三年十月



宋代の臨濟宗——黃竜と楊岐——

大慧宗杲

禅文化四三号  
同 四五号

昭和四十二年一月  
昭和四十二年六月

明治時代の禅宗

同 四七号

昭和四十三年一月

荻野独園

同 四九号

昭和四十三年六月

大燈(禅講座卷四)

筑摩書房

昭和四十二年十二月

花園法皇をたたえる

現代禅の法話集所収

昭和三十七年十一月

発行所 妙心寺常在布教師駐在室